

# 清田区民

# シニアスクール



高齢者が小学生と同じ校舎で学び、世代間交流を図る「清田区民シニアスクール」。市内でも唯一の取り組みとして、今注目を集めています。

## 清田区民シニアスクール

とは？

区内の高齢者を対象に、小学校の空き教室を利用して授業をする新しい形の学校です。開校のきっかけとなったのは、岡山県内でのシニアスクールの取り組みを知った区民の方からの声でした。「清田でもぜひシニアスクールを」と、学校、地域の皆さんの協力により開校したのは、平成18年8月のことです。この年は一期生として21人が、翌19年度には二期生22人が入学し、会場となった三里塚小学校で約8カ月にわたる学校生活を送りました。

## バラエティーに富んだ授業

シニアスクールの授業内容は、高齢者向けにアレンジした一般教養科目（国語、理科、社会、音楽・美術、技術・家庭、保健・体育）と、児童との交流です。19年度には、毎週水曜日に2科目ずつ、26週にわたって全52回の授業を開講しました。

一般教養科目では、硬筆入門、苗字・家系にまつわる話、地図上の災害訓練、遺産相続と遺言状の書き方、年金制度の仕組み、童謡と唱歌、絵手紙、陶芸、住まいの補修や防犯対策、手打ちそば、健康体操、医療費や薬の話などの授業が行われ、実用的なものから、専門的なもの、趣味として生かせるものまで幅広く、趣向を凝らした授業が用意されました。

講師を務めるのは、各分野の専門家ばかり。町内会などの集まりで講座を行う「清田区民寺子屋ボランティア」に登録している方々

◀手打ちそばに挑戦。皆さん真剣な表情です。



にも講師を務めていただきました。地域の皆さんの協力により、充実したカリキュラムが実現できました。

## 子どもたちのふれあい

児童との交流を深める授業は、月1回程度開かれます。19年度には、1年生と工作やイモ掘りをしたり、6年生と理科や図工の授業を受けたりと、いろいろな交流が行われました。

交流は授業の中だけではありません。シニアスクールの授業がある毎週水曜日の朝には、「おはようございませう」と元気にあいさつを交わす子どもたちとシニ